

報告書

【目的】

文科省の学習指導要領の改訂により、「探究学習」を高校現場でどのように指導していくか、自ら課題を発見し能動的に探究し表現する「主体的に学ぶ」能力をいかに育成するかについての関心が高まる中、今年度も本学で高校教員向けにセミナー入門編を企画した。

【日時】2017年8月9日（水）10時～17時、10日（木）9時～12時

【会場】大阪大学豊中キャンパス 全学教育推進機構 セミナー室B 他

【対象】高校で探究学習を指導している、あるいは指導予定の教員

【セミナー講師】

佐藤 浩章（大阪大学 全学教育推進機構 准教授、教育学習支援センター副センター長）
進藤 修一（大阪大学言語文化研究科教授、教育担当副理事）
大前 吉史（兵庫県立兵庫高等学校 主幹教諭、SGH 推進委員長）

【ゲストスピーカー（昨年度受講生）】

井上 志音（灘中学校・高等学校 教諭）
長谷川 卓也（京都橘高校 教諭）
笠原 正大（暁星国際学園 ヨハネ研究の森コース 主任研究員）
田村 和司（大谷学園大谷中・高等学校 学習指導センター学習指導部部長）
長谷川 卓也（京都橘中学校・高等学校、教諭）

【参加人数】受講生 51 名、ゲストスピーカー4 名、本学講師 3 名、大学院生オブザーバー3 名、学生アルバイト 2 名

【プログラム内容】

8月8日（月）

9:30	～10:00	受付	
10:00	～10:15	オープニングセッション	進藤 修一
10:15	～11:00	探究学習入門	佐藤 浩章
11:00	～12:00	アイスブレイクセッション	佐藤 浩章
12:00	～13:00	ランチオンセミナー	講師・出席者全員
13:00	～14:00	探究学習の授業デザイン	佐藤 浩章
14:00	～15:00	授業デザイン・個人ワーク（1）	
15:00	～15:30	探究学習の評価	佐藤 浩章
15:30	～17:00	授業デザイン・個人ワーク（2）	
17:30	～19:00	情報交換会	

8月9日（火）

9:00～10:00 ポスター発表と相互フィードバック

10:00～11:00 探究学習の実践

① 探究学習の実践Q & A 大前 吉史

② 高校教員による探求学習の実践例

笠原 正大、田村 和司、長谷川 卓也

11:00～11:45 リフレクション 佐藤 浩章

11:45～12:00 クロージングセッション・修了証授与式 進藤 修一

【参加者の声—アンケート結果より（抜粋）—】

<参加理由>

- ・昨年度から始めた課題研究がなかなか上手くいかず、様々な点において情報を得たかったから。
- ・「総合的な学習の時間」が充分生徒の能力向上に役立っていない現状をふまえて、カリキュラムの改編のための基礎資料づくりのため。
- ・これまでに指導経験がないため、他校の実践を知り、又、探究学習への理解を深めるため。
- ・授業の中で「探究」をどうとり入れていけばいいかを考えたいと思った。
- ・今後探究的な学びに関わっていくことが増えると予想されるので、先進校の取り組みを知りたかった。
- ・探究学習の積み重ねからなる課題研究発表会での研究発表にむけ私自身の研修が必要と思ったので。
- ・イメージはあった探究学習のよりクリアな姿や実践への具体的なプロセスを知ることによって自身の授業の改善につなげるため。

<受講してよかったと思われる点>

- ・グループ内や分科会で他校の実践を聞くことができたこと。
- ・高校教員が探究的な学習を授業として行うときに想定されることの大半が言語化されて説明されたこと。
- ・「課題」「問い」の大切さを知ることができた。
- ・夏休み以降の授業プランニングの参考になった。また、学校全体で「探究」活動を取り入れるにあたってどうすればいいかイメージをわかせることができた。
- ・ワークの時間と講義の時間のバランスがとても良く感じました。
- ・院生、研究者に話題提供していただいたのも新鮮でよかったし、アドバイザーとして巡回していただいたのもよかった。
- ・テーマの設定→探究という流れを生徒の主体性を尊重する形で取り入れるためのヒントがとても多かった。

【備考】本セミナー入門編の修了者は12月の応用編への参加資格が与えられる。

以上

